

「新・子育てになやむ親へのガイドブック〈コ・ラ・ボ〉」発刊について

NPO 法人「フリースクールむさしの学園」は「子育てになやむ親の集い」連絡会（平成15年6月に発足）の事務局として2年間、地道な活動を行ってきましたが、その活動の中で下記のような課題に直面しました。

不登校・引きこもり・発達障害等々の子育ての悩みに直面したとき「親として」どのようにかかわり、どのように対処するのか分からず苦しんでいる親たちが多くいる。上記の悩みをどこに相談したらよいのか、相談場所を知らない親たちが多くいる。福祉行政と教育行政の「狭間」に子育てに関わる多くの課題が存在している。その課題を行政レベルのみで解決するには現在の縦割り行政が邪魔をする。従って、福祉行政と教育行政を民間レベルでコーディネートすることが急務である。

NPO が自らの活動の独自性を保ちつつ、他団体及び子育てになやむ親たちに働きかけ、今まで以上に子育てに関わる課題や情報を幅広く共有化することが必要である。

NPO・親たち・行政が「しなやかに連携できる場」を創出することが必要である。

第一版「子育てになやむ親のためのガイドブック〈コ・ラ・ボ〉」の在庫がないにもかかわらず未だに購入希望者が後を絶たない。

NPO 法人「フリースクールむさしの学園」はこれらの課題を少しでも解決していくことを使命と考え、連絡会各団体の協力の下で「新・子育てになやむ親たちへのガイドブック〈コ・ラ・ボ〉」を発刊することにいたしました。

「新・子育てに悩む親たちへのガイドブック〈コ・ラ・ボ〉」発刊計画内容

平成18年2月に1,000部を発刊します。

一冊約300ページ（第一版「コ・ラ・ボ」の倍のページ数）。

子育て、教育関係のNPO、行政機関、希望する親たちに無料で配布します。

* 公募・シンポジウムなどで希望する親たちに無料配布（500部）

* 課題を共有する民間団体に無料配布（200部）

* 下記の県市町村行政機関に無料配布（300部）

（埼玉県内80市町村の子育て支援、福祉担当課、教育委員会）

（埼玉県内の全保健所、埼玉県行政担当課（福祉・教育・県民生活局ほか）

内容 不登校・引きこもり・発達障害等に関わる多様な領域を網羅し、精神科医、臨床心理士、精神福祉士、NPO 団体の実践者たちの原稿、課題を抱えた子どもたちや親たちの受け皿として活動しているNPO 団体のルポ、NPO 団体指導者からのアドバイス、子育てに悩んだ体験からのアドバイス（公募原稿）、保健所・児童相談所・教育委員会など行政機関の取り組みについての原稿、行政と民間との協働事例、約50の民間団体の活動紹介、さらには子育てアドバイス等を予定しています。

公募原稿募集！ 「一般公募原稿」を募集します。10編程度掲載する予定です。

子育てになやんだ体験者からのアドバイスや経験談、子育て支援団体代表者等によるアドバイスなどの実践報告をしていただき、子育てになやんでいる親たちへ激励を送っていただければと考えています。公募原稿の詳細については別紙の案内をご参照下さい。

「新・子育てになやむ親たちへのガイドブック」発刊についての資料

(資料1)

「子育てになやむ親の集い」連絡会の発足経過

不登校・引きこもり・発達障害、ニート、フリーター、少子化等の「子育てに関わる課題」を内包した社会現象が取りざたされていますように、乳幼児期からはじまり児童青年期においても多くの親たちが「子育ての困難さ」に直面しています。そして、多くの親たちやその家族や当事者たちが「個」の領域で悩んでいるという事実が「子育ての困難さ」をさらにこじれさせています。子育てになやむ親たちや当事者や家族を支援している NPO 団体とて同じ状態です。時には孤立し、自らの活動に困難さが生じていることを多くの場面で感じています。

子育てに関わる課題解決への入り口さえもなかなか見出せず、孤立して悩んでいる多くの親たち、家族たち、当事者、NPO 団体と出会ってきた私たちは（発起人たちは）それらの悩みを皆で共有することの重要性を認識しました。平成15年6月15日、埼玉県内で様々な活動をしている「不登校・引きこもり・発達障害等にかかわる26団体」（現在50団体）が集いました。そして、立場の違いを超えたネットワーク化を目指す「子育てになやむ親の集い」連絡会を発足させました。縦割り行政の枠組みではなく民間レベルで「子育てになやむ親の会・親たち・子育てにかかわる団体」が気楽にリンクすることにより、情報の発信、情報の入手、相談場所をより充実させ、さらに個々別々に活動していた親の会・親たち・当事者・子育てにかかわる団体を連動させようと考えたわけです。お陰さまで、短い期間のうちに連絡会の活動は広がり、またそれぞれの団体の活動が今まで以上に活発になり、より効果的になりました。また今まで孤立して悩んでいた親たち、家族、当事者、NPO 団体が元気になっていく姿に出会うことができるようになりました。

今後においても連絡会は、縦割り行政では手が届きかねる「福祉行政と教育行政の狭間」に「横断的な対応や解決の畠」を自分たちの手で開墾するための活動を展開していく所存です。そのためにも子育てになやむ親たち、親の会をはじめ民間団体及び行政各関係機関、不登校・引きこもり・発達障害等々の子育てに関わる問題に関心のある学生たち、大人たちが一人でも多く連絡会に参加し、「自分の問題は皆の問題」「皆の問題は自分の問題」と考えることができるような「しなやかな連携」を図っていきたいと考えています。

ご支援のほどよろしくお願いいたします。

「新・子育てになやむ親たちへのガイドブック」発刊についての資料

(資料2)

子育てになやむ親の集い連絡会発足後の経過報告

平成15年の発足時から今までの活動経過は次の通りです。

参加団体50団体・参加者人数550名以上

(平成15年6月15日～平成17年6月30日)

- 平成15年6月15日「第一回・子育てになやむ親の集い」(志木市)
平成15年7月21日「第一回子育てにかかわる団体があなたと一緒に考える会」(志木市)
平成15年9月21日「第二回・一緒に考える会」(川口市)
平成15年10月26日「第二回・親の集い」(志木市)
平成15年11月30日「第三回・一緒に考える会」(さいたま市)
平成16年2月11日「第四回・一緒に考える会」(川越市)
平成16年2月「子育てになやむ親へのガイドブック<コ・ラ・ボ>」発刊
平成16年3月26日「第三回・親の集い」(越谷市)
平成16年4月29日「第四回・親の集い」(志木市)
平成16年6月13日「第五回・一緒に考える会」(川口市)
平成16年7月11日「第六回・一緒に考える会」(狭山市)
平成17年3月19日「第五回・親の集い、第七回・一緒に考える会」(川口市)
平成17年5月21日「第六回・親の集い、第八回・一緒に考える会」(朝霞市)

文責：望月泰宏

平成17年7月吉日

連絡先 「子育てになやむ親の集い」連絡会事務局

NPO 法人フリースクールむさしの学園

電話 048-487-0006

携帯 090-1554-1755

メール press@collabo-saitama.jp

(353-0007) 埼玉県志木市柏町4-5-28